

6 / 29県議会で教育長

# 統廃合

## 文教常任委(7/11・12)で具体案公表の意向



6月29日、県議会の本会議で、自民党の野田議員に高校再編へのスケジュールを問われた教育長は、次のように答えました。「再編計画の目処がついたので、常任委員会(文教)で公表できればと考えている。その後、説明会とパブリックコメントを実施して、県民の皆さんのご意見を聞いた上で、計画を策定したい」

### 統廃合計画の具体案を発表する意向を固めた模様

いよいよ、県教委は、7月11・12に行われる「文教警察常任委員会」で、統廃合計画の具体案を発表する意向を固めた模様です。昨年来の県民の声を踏まえるなら、学校の廃校を含む再編計画は出来ないはず。計画案が出されれば、実施に向けた大きな条件になります。県知事や教育長に「計画案を出すな」の声を上げていきましょう。

しかし、計画案が出されてもあくまで案です。教育長は、計画案の発表したあと「県民の意見を聴いて計画を策定する」と言っています。知事は「地域の元気の砦である高校を守るために、私も努力したい」とも言っています。最後は県民の声の広がりになります。具体案が出た場合にも、その撤回など求めて共同を広げ意見をあげていきましょう。

### 知事「地域の元気の砦である高校を守るため努力したい」

以下、統廃合に関わる、この日の県議会でこのやりとりの一部を紹介します。野田「昨年度、県は再編の根拠を説明してきたが、市町が意見書を出し、22年度の発表を断念した。高校統廃合は滋賀の発展にとって重要な影響がある。

7月11日・12日の文教警察常任委員会に傍聴参加を！  
10時から県庁2階 第5委員会室にて

慎重にすべきである。地域の皆さんと共に歩んできた高校をどうするのか。」

知事「心を育てる教育が大切。子どもたちが、家族・郷土の良さを感じあい、自らの地域に誇りを持ち国を愛する教育をしている。10校をモデル校にして地域との連携を図りたい。インターンシップを行い雇用促進にもつなげたい。地域の元気の砦である高校を守るために、私も努力したい。」

野田「どういう質的な発展を考えるのか。再編へのスケジュールはどうか」  
教育長「『教育しが』で知らせてきた。慎重に再編を考えたい。地域資源を活用し、地域に根ざした特色ある高校にしたい。集団活動の中で切磋琢磨できるようにしたい。再編のスケジュールは、再編計画の目処がついたので、常任委員会で公表できればと考えている。その後、説明会とパブリックコメントを実施して、県民の皆さんのご意見を聞いた上で、計画を策定したい。」



ストップ高校統廃合 2011年度速報第8号

2011/6/30 県立高校の統廃合を考える会

077-522-4965 FAX 077-522-4978

(増し刷りして配布、回覧、また掲示板に貼るなどして下さい)